

ワンポイントガイド その1

1. 松月院



延徳4年（1492）に千葉自胤（よりたね）が寺領を寄進して中興したと伝えられている曹洞宗寺院。江戸時代は、将軍家から寺領40石を与えられた朱印寺で、墓地内には、千葉一族や鎌倉時代の僧了雲の墓、境内には天保12年（1841）徳丸ヶ原で西洋式砲術の調練を行った高島秋帆（しゅうはん）を顕彰し、大正11年（1922）に建立された顕彰碑がある。

2. 赤塚植物園



武蔵野の面影を色濃く残す赤塚の丘陵地を活用し、1981年10月に開園。園内の樹木や草花は600種を超える。本園、万葉・薬用園及び農業園の3つのエリアで構成。本園は、約1HAの敷地内に樹木見本園として、万葉・薬用園には、万葉集に詠まれた植物や薬用植物が、農業園は、主にこどもたちが農作業の体験を行う畑となっている。

3. 東京大仏



乗蓮寺本堂の右手にある高さ13Mの青銅製の大仏、通称東京大仏。乗蓮寺は1394～1428年に創建されたと伝わる浄土宗の寺院。完成当時日本第3位の大仏と言われ、板橋十景にも選ばれる。境内にある様々な石像は、藤堂高虎が朝鮮から持ち帰ったと言われ、なかでも「がまんの鬼」のユーモラスな表情が楽しめる。

4. 赤塚城址



中世の典型的な平山城で、周辺には空壕など遺構がわずかに残っている。本丸跡を示す石碑など、江戸城を除く23区内の城址の中では最も多くの遺跡が残っている。赤塚城の内堀だったとされる赤塚溜池公園は、明治以降、農業用水、今日では釣りの楽しめる公園となっている。

ワンポイントガイド その2

5. 富澤湧水



多摩川の扇状地として運ばれてきた石ころの多い武蔵野礫層と、その下の粘土層の境目から湧き出す水を実際に見ることができる。雨の降らない時期でも豊かに水が湧いており、さわがに、トンボなどもいる。

6. 白子熊野神社

熊野神社は、白子の鎮守さまとして栄えてきた。発祥は不明であるが、社伝によると、およそ1千年前といわれている。境内には明治3年築造の大型の富士塚があり、年間を通じて自由に登拝できる。白子熊野神社と境内を接する瀧不動（清龍寺不動院）は、天台宗系の単立寺院で、第二次大戦後に富士山の溶岩で造られた全長25Mの洞窟霊場（開運洞窟）があるのが特徴。

7. 理化学研究所



日本で唯一の自然科学の総合研究所として、物理学、工学、化学など広い分野を研究。1917年（大正6年）に渋沢栄一らが財団法人として創設。2015年（平成27年）4月には国立研究開発法人理化学研究所になる。研究成果を社会に普及させるため、大学や企業との連携による共同研究、受託研究等を実施しているほか、知的財産等の産業界への技術移転を進めている。

8. 県営和光樹林公園



「米軍キャンプ朝霞基地」の跡地の一部で、住環境の確保と、美しい都市景観の創出を図る公園として計画された。多目的利用が可能な広場を整備し、スポーツ・レクリエーションの場として、また広域避難地として整備、開設。新座緑道は全長480Mの遊歩道で、災害時には避難路となる。この公園と都立大泉中央公園、区立大泉さくら運動公園などが隣接することで大きな緑地帯として機能している。中央にある三角花壇には季節により花が咲く。秋になると「コキア」の赤色に染まる紅葉が綺麗。